

おすすめ図書!

「風、波、男と女、湖の記憶」  
霞ヶ浦風土記  
佐賀純一 著

新年を迎えて、心新たに何かを始めようと考えている方におすすめの図書をご紹介します。

計り知れない明日への不安に立ち向かい、スペイン風邪や戦争を経験しながら、たくましく生き抜いた先人たちの物語はどうでしょうか。

【あらすじ】

明治から昭和まで、霞ヶ浦の美しい自然と、そこに住む人々の暮らしや湖に対する思いが聞き書きで書かれています。自分の目の前でおじいちゃん・おばあちゃんが話しているような感じで、親しみやすい語り口です。

全38話中14話には、出島村の人の話が収められています。天気を予測する漁師の知恵や、さまざまな漁の様子、霞ヶ浦と東京を結んでいた高瀬船や蒸気船通運丸の思い出、志戸崎には映画館、歩崎には異人館があったことなど、村や町での暮らしが鮮

やかに蘇ります。  
かつては、そのまま飲むことができるほど澄んでいた霞ヶ浦の水、そこに生きる人間と湖が織りなしたすばらしい日々の物語です。  
(英訳版もあります)



2月図書館カレンダー

2021年		2月Feb.					
日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28							

■休館日：毎週月曜日

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

【お知らせ】

- ◎2月16日(火)～2月22日(日)は、蔵書点検のため休館です。
- ◎新型コロナウイルス感染症の影響により、2月のお話会、児童館読み聞かせは中止です。



歴史  
にふれる



輝くかすみがうら市の歴史遺産

かすみがうら市は、西に筑波山系の山々、そしてのどかな里山、東に霞ヶ浦を擁する景勝地です。

近年、この大地の成り立ちや生態系、そして人々の営みが注目を集め、筑波山地域ジオパークとして認定されています。市内には「ジオサイト」と呼ばれる見どころが複数存在し、多くの方が見学に訪れています。この大地は、実に数万年前の旧石器時代から人々の営みの舞台となりました。市内には、旧石器時代から江戸時代にかけての遺跡が788カ所も所在し、これは茨城県内で最多数であり、考古学ロマンあふれる土地であることの証明です。

また、古くからの文化や伝統を大切にする地域性もあり、霞ヶ浦漁業の花形である帆引き船や、成井ばやし、藤切祇園などの貴重な民俗行事も、地元の人々を中心として数多く伝えられています。そして、日本の行く末に命を燃やし幕末を駆け抜けた志士、郷土の人々に多大な恩恵をもたらした発明家など、偉大な先人も数多く輩出されています。

市歴史博物館では、これらの輝かしい歴史遺産を保存・継承し、そして発信していくための取り組みを続けています。

「歴史にふれる」では、自然・偉人・伝統文化・史跡の4つの柱を視点として、ボランティア団体「かすみがうら市市民学芸員」と協力しながら市の歴史をお届けします。

1人でも多くの市民の皆さんに、市の歴史に興味を持ってもらえるよう、さまざまな題材を取り上げていきますので、取り上げて欲しい題材などがありましたら、歴史博物館までご連絡ください。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



伝統の帆引き網漁



大豪族が眠る富士見塚古墳



あじさい  
土曜名画座

日時 2月6日(日)午後2時から  
※午後1時半受付・開場

定員 先着20人

場所 あじさい館 [視聴覚室]

料金 100円

☎ 霞ヶ浦中地区公民館

☎ 029-897-0511

【鑑賞の注意点】  
マスクは必ず着用してください。

つむぐもの

出演 石倉三郎 キム・コッピ [上映時間109分]

【ストーリー】

頑固な和紙職人・剛生のもとにワーキングホリデーで来日した自堕落な韓国娘のヨナ。和紙作りを手伝うはずが、剛生が病魔に倒れ、なんと介護をすることに！衝突を繰り返す2人だが、次第に奇妙な友情が芽生えていく。

あじさい館ホール展示作品紹介

【2月は「まゆクラフト研究会」の作品展示】

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画、写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

▶期間 1月26日(日)～2月21日(日)

☎ 生涯学習課 ☎ 029-897-0511

投稿作品

文芸ひろば

投稿作品  
目覚めは夜半すでに新しき年になるコロナに負けず力の限り生きていく  
ビエンの語初めて聞くよめずらしいミスターの我使おうと録す  
ささぎの知れぬ行方コロナ禍も自然は知らず晩秋の空  
山並みに月は傾き夜明けにて一際光る星を見つめて  
霜枯れの刈田に野鳥むれ遊ぶ朝焼けの空軌跡が走る  
幾歳の年賀重ねて走馬灯思い流れて暫し漂う  
成人の日や真夜中の模様替え  
街角で誰を待つやら春日傘

出島短歌会(霞ヶ浦中学校生徒の作品)  
はずむ会話あの子と私遠回りオレンジ色の背中のあの子  
サッカー部毎日走るいざ試合ボールさわれずただただ走る  
夕焼けの空飛ぶ魚金色の悲しみもます湖の静けさ  
自転車で大粒の汗目にしみる太陽が一緒に走っているよう

紫陽花俳句会  
ほほかぶり戸板にならぶ海の幸  
冬晴れや八十路の一日忙しく  
「バチパチ」と音も登るや冬の窯  
使い染め鍋に湯豆腐踊りけり

千代田俳句同好会  
冬日和窓硝子より磨きけり  
絵心といふは詩心枯葉散る  
凜として冬青空に筑波山  
冬夕日浴び高き銀翼輝けり  
磨崖仏抱ける山の眠りをり

片桐有稀  
今井悠誠  
市村海翔  
市村彩音  
市村彩音

飯田功  
久保庭悦子  
田能幸雄  
福田宏通

桜井筑蛙  
桜井愛子  
榊原清志

大西周  
加藤貞江

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。2月2日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。  
※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。)